

経歴書					
氏名	榎本 和男	かな	えのもとかずお	職種	経営デザイナー
生年月日	1947年3月27日				
現住所	愛知県稲沢市下津二本杉町73番地				
電話	0587-32-2214	FAX	0587-32-2214		
勤務先	株式会社 昭和企画（代表取締役）				
勤務先住所	〒492-8439 愛知県稲沢市七ツ寺町70-4				
勤務先電話	0587-36-3271	FAX	0587-36-0361		
最終学歴	昭和44年3月 愛知大学法経学部2部経済学課卒業				
職歴	S44年4月～S48年6月 株式会社共ショウ名古屋支店 工業資材 S48年6月～ 昭和ホーム創業 内装、建築 S58年5月～ 株式会社昭和企画設立 積算ソフト、炭化装置、環境装置、竹炭・竹酢液製造、携帯販促メール、IT導入 S61年6月 株式会社コスモ設計設立 平成22年～ 国立大学法人金沢大学 講師				
主な受賞	優秀製品賞：炭焼十字軍 財団法人中小企業異業種交流財団 ニュービジネス大賞環境部門賞：社団法人ニュービジネス協議会 ほか				
得意分野	IT、販売管理ソフト、積算ソフト、環境リサイクル、携帯メール、販促システム 展示会出展 延べ1200回、最多年間出展80開催、新製品開発最多年間60個				
専門家登録 (中小企業支援法)	あいち産業振興機構、岐阜県産業経済振興センター、三重県産業経済振興センター しずおか産業創造機構、富山県新世紀産業機構、石川県産業創出支援機構、ふくい産業支援センター、21 あおもり産業総合支援センター、いわて産業振興センター、みやぎ産業振興機構、福島県産業振興センター、茨城県中小企業振興公社、栃木県産業振興センター、群馬県産業支援機構、滋賀県産業支援プラザ、京都産業21、奈良県中小企業支援センター、わかやま産業振興財団、やまぐち産業振興財団、宮崎県産業支援財団、かごしま産業支援センター、沖縄県産業振興公社				
著書論文	エコドリームプラン 廃木材の有効利用 HP（研修会資料）平成12年 炭焼産業の復活 炭焼産業について HP（研修会資料）平成10年 第三世代携帯電話とブログの融合技術 「SC JAPAN TODAY」17年9月号（社団法人日本ショッピングセンター協会） 販促システム：焼肉店メール「焼肉文化」（焼肉文化社） ユビキタス社会における子どもの安全確保に関するシステム 総務省HP ネットを利用したリーズナブルな販促システム 「SC JAPAN TODAY」18年6月号 炭化装置とその動向 「月刊廃棄物」、販促システム 「月刊自動認識」23年12月 「恋の手ほどき」、「婚活～女の覚悟」 ミクシ 2008.7.25～10.24				
講演	中小企業大学校三条校：「創業支援」、日本福祉大学：「環境・リサイクル」 危機管理産業展：「携帯電話で危機管理 ブログとメールが恋をした」、岡山県産業振興財団「カキイカダのリサイクル」、山口県薪炭協会「竹のリサイクル」				



専門分野登録票

対象分野	卸業・小売業・サービス業・情報サービス・ホテル・旅館・建設業
アドバイス可能分野	連携、事業転換、社内新事業、営業企画、販売戦略、販路開拓、顧客管理、マーケティング、広告・宣伝、商品開発、デザイン企画、イベント企画、展示会企画 親の婚活、恋の手ほどき、帝王学、事業プロデュース、店頭公開支援
自己PR	創業が内装工事、建築、その後ソフト開発、コンサルタントで問題解決を経験。製品開発は30数年に及び、年間最多開発点数は52製品。基幹技術を見出してその製品とサービスを製品化することで思わぬヒット作を経験する。主な基幹技術に積算ソフト、炭化装置炭焼十字軍と炭製品、携帯メールシステム（多治見市役所、全国ブランド子ども110番連絡システム）、「基幹技術開発手法」などがある。製品開発後の告知手段としてメールマガジン3種類週9本、ミクシなどを持つ。ベンチャービジネス論は共有する分野である「恋愛のプレゼン能力、デートの楽しさ演出能力、心理的考察」を生かした聞く人の心を奪う力を持っている。また、数十年の研究から独自の「帝王学～社会人として」を提唱している。
主催	ビジネス交流会、社長塾、女性社長塾、帝王学入門、100円交流会、朝活
ボランティア	ベンチャーパーク(2000.2.25～)、携帯メール研究会(2005.10.24～)

相談料 1万円/時間、交通費別途、予約制